生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会

Study Group on Reproductive Technology and Healthcare

日　時：2012年9月7日(金)　10:30-17:00
場　所：東京大学本郷キャンパス
医学部研究教育棟

10:30－11:15　仙波由加里（桜美林大学加齢・発達研究所 客員研究員）
「Donor Conception における出自を知る権利」

11:15－12:00　日比野由利（金沢大学医薬保健研究域医学系 助教）
「インド女性の語りからみたインドの第三者生殖技術の現状・プロセス」

13:00－13:45　幅崎麻紀子（筑波大学ダイバーシティ推進室 准教授）
「生殖テクノロジーの流入とローカルな実践：ネパールを事例として」

13:45－14:30　荒木晃子（立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構）
「生殖医療を包括した不妊問題解決の再考
――不妊現象と家族支援システム構築に向けて」

14:30－15:15　野辺陽子（東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程）
「なぜ養子縁組は不妊当事者に選択されないのか？
――制度/運用/当事者の意識」

15:30－16:15　高橋克彦（JISART 理事長、広島 HART クリニック理事長）
「我が国の卵子提供体外受精の現状と問題点」

16:15－17:00　島薗洋介（金沢大学医薬保健研究域医学系 研究員）
「不妊当事者の卵子提供をめぐる意識とニーズ―アンケート調査の結果から」

[連絡先]
金沢大学医薬保健研究域医学系　環境生態医学・公衆衛生学 日比野由利・島薗洋介・土屋敦（東京大学）
最先端・次世代研究開発支援プログラム「グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題」:
http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp /